

北区景観づくりシンポジウム 2018

～すてき再発見 さがそう！北区の魅力～ 報告書

【開催概要】

日 時：平成 30 年 9 月 22 日（土）
19：00 から 21：00
会 場：北とぴあ
14 階 スカイホール
参加人数：45 名



1. あいさつ

まちづくり部長 横尾 政弘

本日のシンポジウムですが、現在、区が取り組んでおります「みんなでつくる北区景観百選 2019」の投票実施にあたりまして、景観の視点から北区の魅力を再発見し、共有し、発信していきたいとの趣旨から、北原先生、吉村先生、そしてパネリストの皆さま方のご協力をいただきまして、開催する運びとなったものでございます。

現在の「北区景観百選」は、平成 8 年（1996 年）から平成 10 年（1998 年）にかけて選定と認定を行い、平成 11 年 3 月（1999 年）にガイドブックを発行しております。選定から 20 年が経過していることから、あらためて、北区の景観や景観づくりを見つめ直す、良い機会と考えております。

今、東京では、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催をひかえまして、訪日外国人旅行の高まりをみせています。北区においても、この機会を捉えまして、「新たな北区の景観百選」を、北区の魅力や観光の資源として、区内外に発信していきたいと思っています。

そして、景観づくりをとおして、北区が目指しております、「人が輝く、まちが輝く、未来が輝く 北区」づくりに、是非とも、皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

2. 基調講演

講演者：北原 理雄 氏 千葉大学名誉教授

「景観から考える北区の魅力」

－北区景観百選のこれまでとこれから－

現百選を選定してから概ね 20 年が経過し、北原先生には、当初より関わっておられる視点で、北区ならではの景観まちづくりについてご講演いただきました。



【講演の要旨】

景観とは？、北区の景観の特徴、北区景観百選 2019 をなぜ実施しているのか？というお話を中心に、スライドを使ってご説明いただきました。

| スライド | 北原先生のコメント |
|---|--|
|  | <p>景観を辞書で調べてみると、「自然と人間界とのことが入り混じっている現実のさま」という文言があります。</p> <p>さらに景観という漢字を読み解くと、「人々が暮らしている様をしっかりと見定める」という意味があります。明治になってからドイツ語の Landschaft（土地のあり様）を日本語で表現したのですが、先人たちは、精神的意味のある深い味わいのある表現にしてくれました。</p> |
|  | <p>このスライドは、今から 160 年前の人々が見た北区の景観です。歌川広重の名所江戸百景には、北区の景観が 6 景、浮世絵として描かれています。</p> <p>この 6 景から読み取れるのは、武蔵野台地の北東の端に北区があり、台地を流れてきた音無川が渓谷をつくり、飛鳥山からの眺望が北区の自然景観の特色であり、今も受け継がれているということです。</p> |
|  | <p>北区では、区の景観の特徴を区民とともに、まもり、つくり、そだてるために、まず自分たちの素晴らしい景観を見つけようという取組、北区景観百選を平成 8～10 年に行いました。平成 11 年に発行したガイドブックの中には、「北区を代表する景観 10 選」として、飛鳥山公園、王子神社、旧古河庭園などが選ばれました。</p> <p>概ね 20 年が経過し、新しい景観や暮らしの景観など、北区の景観も日々変化しています。</p> |
|  | <p>今回あらためて、「みんなでつくる 北区景観百選 2019」をつくるのが、北区の景観、豊かな生活の場、北区のまちづくりへとつながっていきます。</p> <p>皆さまの身近なところにすてきな景観があると思いますので、ぜひ、北区景観百選 2019 の投票にご協力ください。</p> |

3. パネルディスカッション

「すてき再発見 さがそう！北区の魅力」をテーマにして、それぞれの立場における景観に関する気づきについてのご意見をいただきました。

【テーマ】

「すてき再発見 さがそう！北区の魅力」

【コーディネーター】

吉村 晶子 氏 千葉工業大学教授

【パネリスト】

塚本 二郎 氏 北区景観アドバイザー

山田 桃子 氏 東京家政大学

櫻井 七音 氏 東京成徳大学

土井 富美子氏 北区観光ボランティアガイド



「北区の魅力的な場所」

【主なご意見】

- 崖線や交通網が有機的につながっていて、景観の連なりとしての魅力がある。そのことが北区ならではの心地よい様々なスケールの景観を生み出している。
- 自転車等で移動しながらみると、それぞれのつながりを楽しむことができる。移動すると楽しい景観であり、「移動してつなぐ」という景観の楽しみ方ができる場所である。
- 自然の地形によって、ダイナミックな風景が楽しめ、都内でも自然と触れあえる公園等が多くある。
- 癒しを与えてくれるまちである。また、自然があるだけでなく、景色も楽しめ、水を使って遊べる公園や動物と触れ合える場所もある。
- 北区には素敵な銭湯が数多く存在し、鉄道のまちでもある。鉄ちゃん（鉄道マニア）の聖地、スリバチ（地形マニア）の聖地でもあり、知ることにより楽しくなるという「深み」がある。
- 自然に触れ合える環境、自分自身の身近な環境で発見ができる場所を子供たちに提供している。

「景観百選の候補地についての気づき/それぞれの立場における景観に関する気づき」

【主なご意見】

- 著名な景観資源だけではなく、実際に住んでいないとわからない景観が数多くあり、区民の皆さまの意識の高さを感じる。
- アットホームな北区ならではの、暮らしがあふれている場所や身近に挨拶を交わす関係があり、昔ながらのまちの一部がたくさん残っている。
- 歴史をあとに伝えていくものである神社や祭りが衰退するのを止めなければならない。あとの人にどう残していくのかが重要であり、われわれ若い世代が残していかなければならない。

- ・ 祭りや商店街、銭湯など、身近なコミュニケーションの場は、人と人をつなぐまちの役割を担っている。
- ・ 坂が多く、それぞれ名前がついていて、地元の人に愛されていることがわかる。
- ・ 商店街に人が集まってコミュニティが形成されており、地域の人により、廃れないよう活性化させていて、商店街の機能を最大限に活用している。

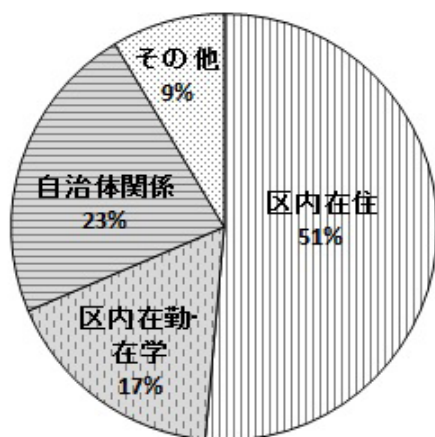
4. ご意見・ご質問

-
- ◆ 景観づくりの大事な要素の一つで、ランドマークがありますが、北区には、世界中の人がくるようなランドマークはありません。北区でランドマークをまもり、つくり、そだてることはできるのでしょうか？
 - ◇ シンボルがあることは大切ですが、今現在の都市の問題は、みんながランドマークをつくりたがり、ランドマークで無くなってしまっていることにあります。北区のランドマークを区民とともにつくることはよいと思いますが、日本では、江戸から富士山を望むなど、まちの外にあるランドマークを愛でるという伝統もありますから、「外にあるランドマークを楽しめて、日常の暮らしがとても豊かなまち」でもよいと思います。
 - ◆ 景観資源単体ではなく、集まりを景観というのではないのでしょうか？
 - ◇ 景観百選は、景観をつくっている一つ一つの場面を選んでいて、その場面が連なって線や面としての景観ができていきます。しかし、それでは景観百選に選定しづらいので、「それらをつくっている要素をみんなで見つけていきましょう」ということが景観百選の趣旨です。
 - ◆ 北区には昔からある優美な景色が存在していましたし、今もなお存在していますが、今回景観百選の候補として選ばれていないのはなぜでしょうか？
 - ◇ 今回の景観百選については、区民の皆さまからの投票を整理させていただいておりますが、今後のガイドブック作成に際しては内容を検討中ですので、今後の検討材料とさせていただきます。

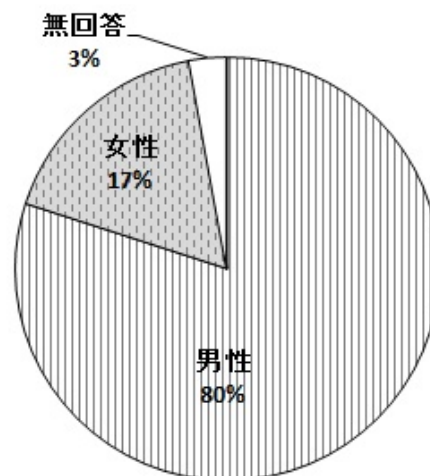
5. アンケート結果 (回答数：35件)

1. ご自身のことについて教えてください。

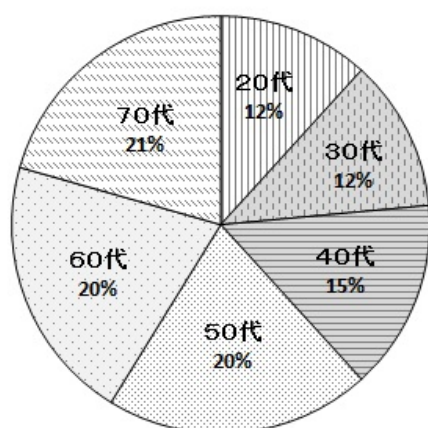
(1) 北区との関係



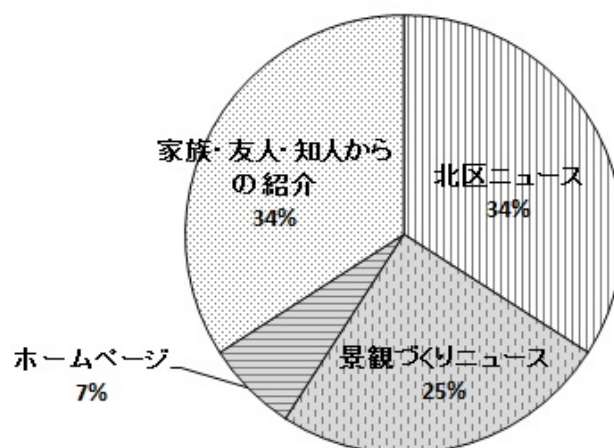
(2) 性別



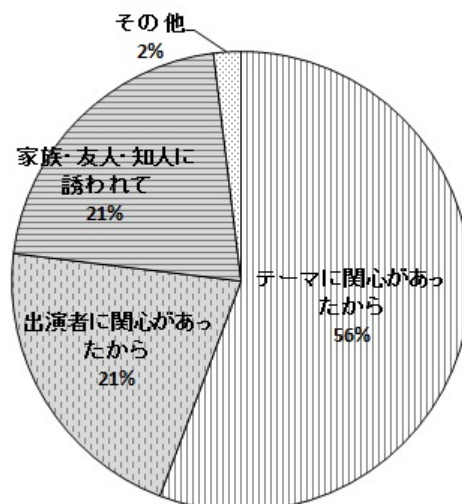
(3) 年代



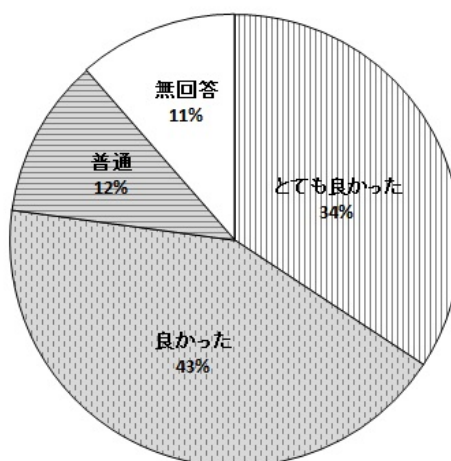
2. 本日のシンポジウムを何でお知りになりましたか？(複数回答可)



3. シンポジウムに参加されたきっかけは何ですか？（複数回答可）



4. シンポジウム全体の感想をお聞かせください。



5. 今後どのようなシンポジウムの内容を希望しますか。

- ・ 北区の3地区（赤羽・王子・滝野川）または7地区の代表が、地元のまちづくりの今までと今後について、意見交換する。
- ・ JR駅の数が東京都最多とのことで、北区の鉄道シンポジウム。
- ・ 北区出身の建築家講演会。
- ・ 北区の特徴的な建築物の解説講演会。
- ・ 現在の景観だけでなく、過去の景観を含んだシンポジウム。
- ・ 景観と災害に強いまちづくりに関するシンポジウム。
- ・ 来場者がより参加できるような工夫のあるシンポジウム。

<※一部抜粋>

6. その他のご意見。

- 基調講演の内容は北区に焦点がしっかりあたっておりよかった。「北区時間」の資料もありがたい。
- 新たな景観百選ガイドブックの写真について、時間がゆるすことであれば、区民等から好きな場所等の写真をのせてもらうのも良いかと思えます。
- 30代の初めに北区民となり、その後の三十数年、区民として暮らしてきた。しかし、20代まで区民ではなかったため、住んでいる回り以外は知らない所が多い。これを機会に北区の他の地域についても知ろうと思う。
- 若い学生さんの発言も楽しかったですが、北区観光ボランティアガイドの方のお話、さすが、地元の方ならではの地元愛に満ちたお話で、北区っぽいというか、面白かったです。お国自慢できるというのはすばらしいと感じました。諸先生方のお話を聞いて、北区らしい景観、住みよい町、あらためて考えなおしたいと思いました。住みよい町であれば、なにげない景観も大切な景観となると実感しました。
- 第2部では、スクリーンに写真を映しながらお話を聞けるとより楽しめました。言葉だけでは、イメージが難しかったです。
- 様々な立場や視点でのパネリストのお話は、とても楽しく面白かったです。

<※一部抜粋>